

事前放流施設の概要

- ①目的 当地域では、令和元年佐賀豪雨、令和3年8月豪雨による洪水で甚大な浸水被害が発生しました。
このことから、焼米ため池に豪雨に対する洪水調整容量（空き容量）を確保するため、事前放流施設を整備し、下流の内水被害の軽減を図ることを目的としています。
- ②場所 武雄市北方町志久
- ③工事内容 ◆ため池事前放流施設
・排水能力2.3m³/s（平均）
・ゲート1門（□1000mm）
・放水路延長L=68.4m
- ④工事期間 令和4年度～令和5年度
- ⑤効果 国・佐賀県・武雄市・白石土地改良区と連携した取組により、大雨における家屋や公共施設等の浸水被害の軽減を図ります。



連絡先

佐賀県 農林水産部 杵藤農林事務所
〒849-1312 鹿島市大字納富分2643-1
(鹿島新世纪センター 4階)
TEL0954-63-5114 FAX0954-62-5159

2023年6月9日 操作開始式

内水対策プロジェクト

プロジェクト I F

Inland water Flooding

農業水路等長寿命化・防災減災事業
(危機管理システム等整備)

焼米ため池 事前放流施設





焼米ため池の概要

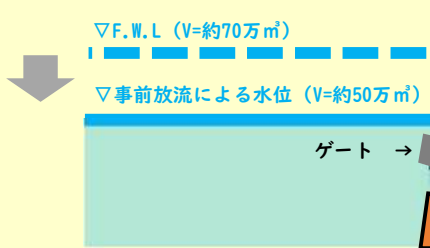
焼米ため池(所在地:武雄市北方町)
 ・管理者:白石土地改良区
 ・貯水量:約70万 m^3
 (上段の永谷ため池と合わせ105万 m^3)

県内で3番目に大きい農業用ため池

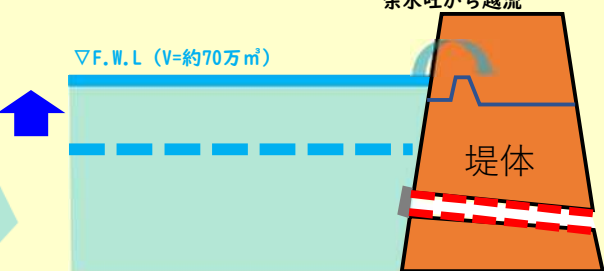
事前放流のイメージ図

大雨前に事前放流することで、洪水調節容量(空き容量)を確保
 大雨による流水をため池に貯留することで、下流域の洪水を軽減

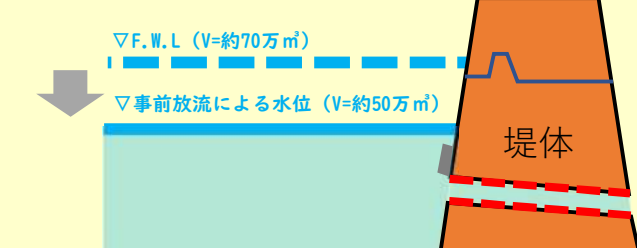
①大雨前に水位を低下
(約20万 m^3 貯留容量確保)



②大雨により水位上昇



③下流域の状況により水位調節
(約20万 m^3 貯留容量復元)



空き容量イメージ

